

# 相談窓口のご案内

～話すことで、心が軽くなる。ひとりで抱え込まないで～

困ったことがあったら、悩まないでご相談ください!

**ダイヤルSOS**～ひとりで悩まないで!～

TEL 044-200-3288

受付時間:【平日】9時30分～17時

友人関係  
トラブル

友達が心配

24時間いつでも 友人、学校お話しできます

**24時間子供SOS電話相談**

TEL 044-522-3293

受付時間:24時間いつでも

家族の  
悩み

学校の  
悩み

友人、学校、家族の悩み何でも

**電話相談(教育一般)**

TEL 044-541-3633

受付時間:【毎日】9時～18時※年末年始を除く

あなたの  
チカラに  
なります!

体罰や先生との関係の悩み

**電話相談ホットライン**

TEL 044-200-3289

受付時間:【平日】9時30分～17時

友だちに  
言いにくい  
悩みを  
共有します

読者の声 子育ての悩み 学校の悩み 子どもの悩み 学校の悩み 読者の声 読者の声 読者の声 読者の声 読者の声  
【読者の声】「教育だより」の発行を応援しています



●編集・発行者 川崎市教育委員会

〒210-0004 川崎市川崎区宮本町6番地 TEL 044-200-3268 FAX 044-200-3950

●「教育だより かわさき」のホームページ

<https://www.city.kawasaki.jp/880/page/0000043954.html> 教育だより かわさき 検索

「教育だより かわさき」では読者のみなさまのご意見・ご感想をお待ちしております。☎044-200-3268 教育委員会事務局 教育政策室

広告



2021.02  
Vol.120

# 教育だより かわさき



特集①

新任教育委員より  
ご挨拶  
令和2年度  
第2回総合教育会議 P1

特集②

令和3年4月から学校給食費が  
公会計化となります P2

特集③

GIGAスクール特集! P3~8

特集④

多文化共生教育のとりくみ P9

特集⑤

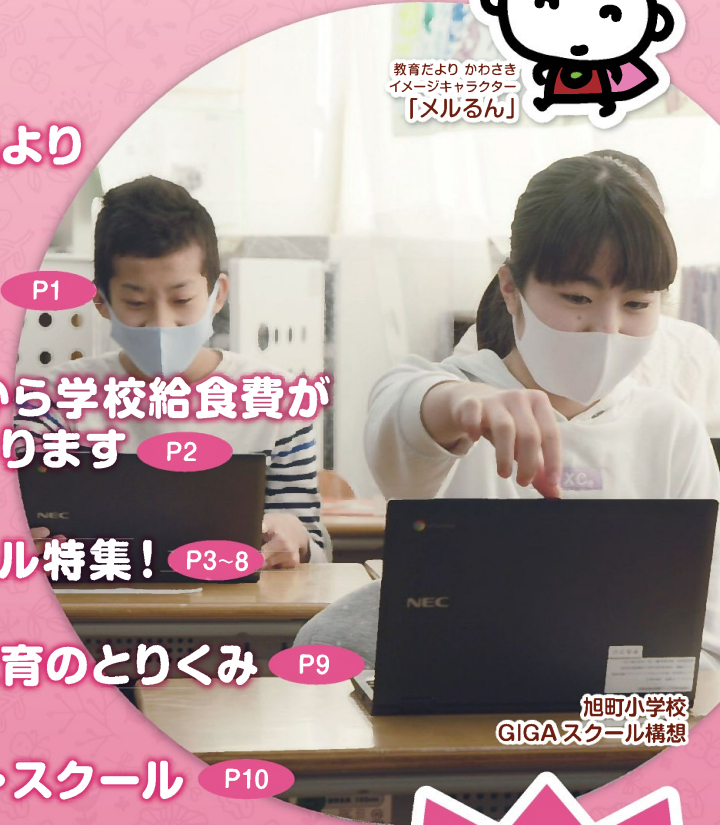
コミュニティ・スクール P10

特集⑥

SDGsで  
未来を変えよう! P11

特集⑦

教育改革推進会議 市民委員募集 P12



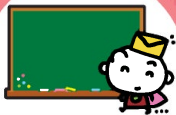
教育だより かわさき  
イメージキャラクター  
「メルるん」

旭町小学校  
GIGAスクール構想



チャレンジしよう!  
メルるんの絵日記  
まちがいさがし

裏表紙  
相談窓口のご案内



特集1

# 新任教育委員 よりご挨拶

令和2年4月から石井孝委員が、令和2年10月から田中雅文委員が、それぞれ教育委員に就任されましたので、紹介いたします。



いしい たかし  
**石井 孝** 教育委員

4月1日付けで教育委員に任命されました石井孝です。  
私は、37年高神奈川県警察に勤務し、現在は、在外勤務など約10年間従事した国際分野での経験を活かし、独立行政法人国際協力機構(JICA)で途上国に対する警察の技術協力・支援等に携わっております。  
川崎市内では、多摩警察署副署長、幸警察署長及び川崎市警察部長として合計4年間勤務し、少年育成課長としても本市教育委員会と連携してきました。  
これまでの経験を活かして、川崎市の教育行政に少しでも貢献できればうれしく思います。よろしくお願いたします。



たなか まさふみ  
**田中 雅文** 教育委員

10月1日付けで教育委員に任命されました田中雅文です。  
日本女子大学人間社会学部教育学科に所属し、川崎市では社会教育委員、かわさき教育プラン策定委員、地域教育ネットワーク会議議長などを経験させていただきました。  
学生たちが日ごろから市内の学校や市民館等において、教育実習・社会教育実習・ボランティア活動などをご指導頂き、私自身も30年以上前から社会教育・生涯学習に関する調査研究でお世話になってきました。これからは、川崎市の子どもから大人まで、あらゆる市民の方々の学びと教育のために尽力したいと思っております。どうぞよろしくお願いたします。

お問合せは 庶務課 ☎044-200-3362

## 令和2年度第2回総合教育会議を開催します。

- 日時** 令和3年3月22日(月) 15時~16時30分(開場14時30分)
- 開場** 川崎市役所第3庁舎 18階講堂
- 傍聴** 当日先着30名まで ※手話通訳あり  
※会議内容はインターネットでの動画配信を予定しています。

お問合せは 総務企画局企画調整課 ☎044-200-0374



特集2

# 令和3年4月から学校給食費の 公会計化を実施します。



## 学校給食費の支払先が川崎市になります。

川崎市では令和3年4月から、学校給食費が、公会計制度に移行します。これに伴い、学校給食費の支払先が、これまでの学校から川崎市へと変更になります。また、学校給食費の支払は口座振替をお願いしておりますので、「口座振替納付依頼書」の

手続がお済みでない方は、金融機関で手続を行ってください。なお、学校給食費以外の学校徴収金につきましては、これまでと同様に、学校指定の口座から引き落とされます。

## アレルギー対応や長期欠席の手続

食物アレルギー等の理由により、学校給食の全部又は一部(牛乳停止又は牛乳のみ)を停止する場合や、傷病等により連続して4日以上長期欠席する等の理由で、あらかじめ欠食する日がわかっている場合に、給食の停止を届け出る際は、「学校給食費区分変更届」を学校へ提出していただき

ます。学校が届出を受けた日の翌日から起算して8日目(休日等を除きます)以降から、学校給食費の請求を停止いたします。急な欠席や3日以内の欠席は、食材発注の都合上、学校給食費の請求を停止することはできませんので、御了承ください。

## 令和3年度以降の口座振替日(納期限)は年9回の予定です。

口座からの引き落としは年9回、次の表のとおり実施します。  
残高不足等により振替不能となった場合は、納付書を郵送しますので、金融機関等でお支払いください。



### 学校給食費の納付(口座振替)スケジュール

※納期限が土日・祝日等の場合は、金融機関の翌営業日になります。

期別	第1期 (4・5月分)	第2期 (6月分)	第3期 (7月分)	第4期 (8・9月分)	第5期 (10月分)	第6期 (11月分)	第7期 (12月分)	第8期 (1月分)	第9期 (2・3月分)
口座振替日	6月30日	7月31日	8月31日	9月30日	10月31日	11月30日	1月4日	1月31日	2月28日 又は29日

## 各期にお支払いただく学校給食費は次のとおりの金額を予定しています。

### 学校給食費の年間納付予定額

校種	給食 実施回数	1食当たりの 基準額	月額額		
			牛乳代含	牛乳停止	
小学校	187回	270円	4,600円	3,800円	
中学校	1・2年生	165回	4,800円	4,100円	
	3年生		4,600円	3,800円	
特別支援 学校	183回	180円	3,000円	2,200円	
		小学部	270円	4,500円	3,700円
		中等部 高等部	320円	5,400円	4,500円

※学校給食費の徴収は年9回に分けていますが、最終的には実際に学校給食を食べた回数に応じて徴収します。  
※令和3年度の1食当たりの基準額は、今年度と変更はありません。

お問合せは 健康給食推進室 ☎044-200-2539

その他公会計化の制度や手続についての詳細は、右記QRコードからホームページにアクセスできます。▶





特集3

# かわさき GIGAスクール構想

未来社会の創り手を育む かわさきの新しい教育

川崎市では令和2年度中に義務教育課程1人1台分のコンピュータ端末及び市立学校の高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備し、かわさき教育プランの

理念である「夢や希望を抱いて生きがいのある人生を送るための礎を築く学び」を推進します。

## GIGAスクール構想とは？

GIGAとは「Global and Innovation Gateway for All」の略で、Society5.0時代に生きる子どもたちの未来を見据え、1人1台分のコンピュータ端末及び高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備することで、誰一人取り残すことのない、公正に個別最適化された学びを持続的に実現していこうとする取組です。令和元年12月に文部科学省より打ち出されました。



## 充電保管庫の設置やコンピュータ端末の導入が始まりました！



かわさきGIGA  
スクール構想

# GIGAスクール構想で 学びが変わる！



かわさきGIGAスクール構想では、個別学習、協働学習、一斉学習のどの学びにおいてもクラウドを利用し、学びを蓄積し、双方向の学びを可能にすることによって、

かわさき教育プランの基本目標である「自主・自立」「共生・協働」を実現します。ステップ1,2,3と段階的に学びを容れていきます。

## 未来社会の創り手を育む かわさきの新しい教育



### かわさき教育プラン

自主・自立

共生・協働

#### STEP3 社会課題の解決や一人一人の夢の実現につながる

クラウドにある各教科等での学びが**つながり**、さまざまな社会課題を探究し、解決する。

コンピュータ端末を通してさまざまな人と**つながり**、学ぶ中で、自分自身の在り方や生き方について考える。

#### STEP2 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善につながる

クラウドを利用することで、既習や他者と**つながり**、学習活動が一層充実し、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善ができる。

インターネットに  
つながることで  
可能となる学び

#### STEP1 インターネットにつながることで、授業で端末が使えることを実感する

友達と一緒に文章やプレゼンテーションの作成をし、考えを共有しながら学び合うことができる。

先生は一人一人の考えを自分のコンピュータ端末で把握し、適切に支援ができる。一斉学習の場面でも双方向の授業が可能になる。

一人一人の学習状況に応じた個別学習ができる。

このような学びを展開するためには、子どもたち一人一人にコンピュータ端末を使用する際のアカウント(IDとパスワード)が必要となります。川崎市では小学校入学から中学校卒業まで、アカウントを貸与するこ

とにいたしました。また、学習指導要領に学習の基盤として示されている「情報活用能力」の育成にも力を入れ、子どもたちがコンピュータ端末を活用できるよう指導していきます。

お問合せは 情報・視覚センター ☎044-844-3710



# 臨時休業中でも コンピュータ端末は大活躍!



## 聾学校 ～臨時休業中にオンラインで子どもとつながる～

幼稚園から高等部までの子どもたちが在籍する聾学校では、普段からICTを利用した視覚的に分かりやすい授業を行っています。臨時休業中もオンラインを利用して子どもたちとつながる取組を各クラス3回ずつ行いました。担当した先生は「学校全体での取組だったので、実施するのはとても大変だったけれど、オンラインでつながり、子どもたちの顔が見られたときはとても嬉しかった」と話していました。



## 宮崎中学校 ～臨時休業後の分散登校でオンラインを利用～

1学年10組まである宮崎中学校では、どのクラスにも同じ授業を届けようと、分散登校の際にオンラインを利用した授業を行いました。1つのクラスで行っている授業が他の全てのクラスに配信されるという新しい授業に、学校の先生全員が協力して取り組みました。その後も、授業支援ソフト「ミライシード」を活用した国語の授業を市内の先生に公開し、先進的な取組を積み重ねています。



# 先生たちも 研究や研修をしています。

## 川崎市総合教育センターでは かわさきGIGAスクール構想を見据えた研究をしています

令和3年1月27日(水)に総合教育センター研究報告会を行いました。

### ICT活用研究会議



児童生徒が授業でコンピュータ端末を最大限活用できるように、最初に何をすればよいか。「初期段階の指導」について、研究をしています。

### 特別支援教育研究会議



個別最適化された学びの実現に向けて、どのようにコンピュータ端末を活用すればよいかについて、研究をしています。

## 教育委員会事務局や先生たちも研修を受け、準備を進めています



まず教育委員会が、Google合同会社の協力のもと、「Google for Education」の研修を受講しました。



(株)ベネッセコーポレーションの方を講師にお招きして、授業支援ソフト「ミライシード」の研修を行いました。



12月から2月にかけて、市内全ての学校から教職員が数名ずつ集まり、かわさきGIGAスクール構想で利用するクラウドサービス「Google for Education」の研修を行いました。

# 教育情報化推進モデル校がかわさきGIGAスクール構想に向けた



## 第1歩を踏み

## 出しています



### 旭町小学校 ～1人1台コンピュータ端末環境でモデル授業～

旭町小学校では、平成30年に川崎市で行われた全日本教育工学研究協議会全国大会の会場校として公開授業を行いました。その後も情報活用能力の育成を学校教育目標の重点に掲げて、研究が進められています。1人1台端末環境をつくり、かわさきGIGAスクール構想のモデル授業を行った先生の授業には、他校の先生方が多数参観に訪れており、「かわさきGIGAスクール構想のイメージがもてた」と話していました。



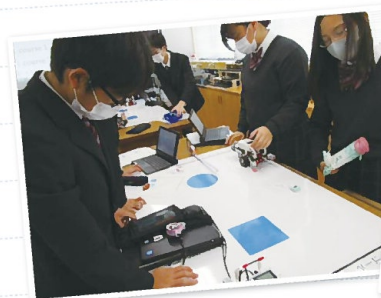
### 小杉小学校 ～新しいツールに慣れよう使ってみよう～

臨時休業中にいち早くオンラインを利用し、「児童と担任がつながる日」を設けた小杉小学校では、開校時から学校だよりをホームページで配信したり、授業の中で1人1台のコンピュータ端末を活用した授業をしたりしてきました。3つの学校目標の実現に向け、コンピュータ端末を1つの文房具として使うための研修・研究を推進しています。「G Suite for Education」や授業支援ソフト「ミライシード」を活用した実践に取り組んでいます。



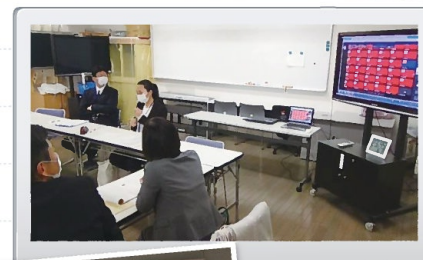
### 川崎高等学校附属中学校 ～2014年から1人1台コンピュータ端末で学習～

開校当時から各教室に電子黒板機能付きプロジェクターや無線LAN環境が整えられており、1人1台のコンピュータ端末を使った授業が行われ、他校のモデルとなっています。情報を適切かつ的確に処理できる力や課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力を育むための研究が進められています。朝学活の時間等を活用してeラーニングを行っています。



### 今井中学校 ～神奈川県放送・視聴覚研究川崎大会で発表～

12月3日に行われた神奈川県学校放送視聴覚教育研究協議会研究大会で、実践発表を行った今井中学校では、学校経営の重点目標に「ICTの積極的な活用を通して、主体的・対話的で深い学びの実現をさせる授業の推進」を掲げ、道徳を中心に、教職員全員が一丸となって研究に取り組んでいます。「ミライシード」を活用した、他者とのつながりを意識した授業づくりを行っています。





# 特集4

# ともに生きる。ともに学ぶ

～多文化共生教育のとりくみ～

川崎市には4万5千人以上の外国籍住民の方がいます。市立小・中学校には、外国につながるある児童生徒が3千人を超え、ともに学んでいます。多様な文化を尊重しあいながら互いを理解しあう取組や、一人ひとりの状況に応じた支援について紹介します。

## 「きめ細やかな指導」の充実(国際教室・巡回指導)

日本語指導が必要な児童生徒が多い学校には国際教室を設置しています。また今年度から、国際教室がない学校にも、日本語指導の先生が巡回して、一人ひとりに応じたきめ細やかな指導を行っています。

子どもたちは、日常生活での会話から学習で使う言葉など、学校生活に必要な日本語を学んでいます。



国際教室での授業

## 母語が話せる日本語指導初期支援員の配置

「学校に通い始めるけど日本語が不安」という子どもに対して、「日本語指導初期支援員」を一定の時間配置して、母語による支援を行っています。日本語学習の支援や学校生活でのコミュニケーションなどをサポートしています。

## ICT機器の活用

日本語に不安がある子どもや保護者と学校とのコミュニケーションに役立てるため、学校の必要に応じて翻訳機器を導入しています。



## 民族文化講師ふれあい事業

身近な外国人市民を講師として学校に派遣し、様々な国の文化(踊り・音楽・衣装・遊び等)を、体験を通して学んでいます。

楽しみながら、異文化を理解し、尊重する態度を育みます。また、外国につながるある児童生徒が、自分の文化を大切に思い、自尊感情を高めることにもつながっています。



フィリピン食文化の紹介



韓国・朝鮮の楽器体験

## 外国につながる子どもとご家族のための小学校入学前支援「プレスクール」を行います

### ●2つのクラスを同時に開催します!

●こどもクラス…日本の学校の様子や、やさしい日本語を教えます。

●おとなクラス…日本の学校の日や準備物、書類の書き方などの説明をします。

### ●申込方法

川崎市教育委員会のホームページにアクセスし、専用のフォームを使って申し込んでください。また、FAX(044-200-3950)でも申し込むことができます。

### ●日時・場所・申込締切

区	場所	日にち	申込締切
川崎区	教育文化会館	2月20日(土)	2月5日(金)
多摩区	多摩市民館	2月21日(日)	
中原区	中原市民館	2月27日(土)	2月19日(金)
高津区	高津市民館	2月28日(日)	
幸区	幸市民館	3月6日(土)	2月19日(金)
宮前区	宮前市民館	3月7日(日)	
麻生区	麻生市民館	3月14日(日)	

7つの区で開催! 時間はすべて 9時30分~11時30分 ※どららの区でも開催できます!



ホームページへのアクセス



お問合せは 教育政策室(人権・多文化共生教育) ☎044-200-3758



# 特集5

# コミュニティ・スクール

～子どもたちの成長を支え応援する学校づくり～

## コミュニティ・スクールとは?

コミュニティ・スクール(学校運営協議会を設置した学校)は、学校と保護者や地域住民等が目標やビジョン、情報を共有し、力を合わせて学校運営に取り組む「地域とともにある学校づくり」を実現する仕組みです。川崎市の学校運営協議会は、学校教育推進会議から移行した仕組みです。

- 1 校長が作成する学校運営の基本方針を承認します。学校の教育目標・目指す子ども像を共有します。
- 2 授業や学校行事の参観、学校支援活動を通して、子どもたちの学びや育ちを応援します。児童・生徒から学校での取組や実現したい願い等を聞くこともできます。
- 3 年間を通して、現状や課題、目標を共有しているので、効果的で持続的な「学校評価」ができます。
- 4 次年度の学校運営方針の改善の方向性を共有します。

学校が保護者、地域住民等と連携・協働しながら「1計画 2実行 3評価 4改善」のPDCAサイクルを回すことで、学校運営全体が充実・改善します。

## 令和2年度に設置された学校運営協議会(コミュニティ・スクール)

### ①南生田中学校区 学校運営協議会

地域、保護者、学校が協力し、地域とともにある学校づくりをめざして、より一層の連携・協働を推進していきます。



### ②はるひ野中学校区 学校運営協議会

小中連携を通じて、地域を愛し地域を支える子どもの育成をめざし、地域とともにある学校づくりを推進します。



### ③麻生中学校区 学校運営協議会

児童生徒を取り巻く課題を解決していけるように、学校と地域が一体となって、教育環境の充実をめざします。



お問合せは 教育政策室(区教育・事業調整) ☎044-200-2465





特集6

# SDGsで未来を変えよう!

## 平間小学校「第4回ジャパンSDGsアワード」特別賞「SDGsパートナーシップ賞」を受賞しました!

「ジャパンSDGsアワード」は、SDGsの推進に向けて優れた取組を行っている企業や団体を国のSDGs推進本部が表彰する制度です。

平間小学校では、SDGsを全ての教育活動の中心において、子どもたちが学んだことを家族や町の人に伝え、地域とともにSDGsに取り

組んでいます。全ての学年での様々な取組、市内内外の発信、平間SDGsフェスははじめとする多様なステークホルダーを巻き込んだ取組など多岐に渡る活動が認められ、川崎市で初めて「ジャパンSDGsアワード」を受賞しました!



子どもたちが学んだことを発信



総理大臣官邸で行われた表彰式(首相官邸ホームページより)



## 高津高等学校(定時制)が大漁旗プロジェクトに参加しました!

大漁旗プロジェクトの募集の話を聞いて、高津高校定時制課程の生徒達から「チャレンジしてみたい!」という声がありました。この思いを受け、川崎の子供たちのために何かをしたいという熱い気持ちで学校を応援してくれている地域の大人たち「TEAM NETSUGEN」のメンバーがサポートをしながら、一緒に作ることになりました。

川崎市は全国に先駆けて多文化共生を進めてきた土壌があり、光の三原色をイメージした市のロゴマークは、どんな「色」にもなる多様性や自由をあらわしています。年齢、人種、国籍、性別、障害の有無、その他多様な生き方や考え方を寛容に認め合い、誰もが活躍できる、カラフルな未来を思い描きながら、生徒一人一人が、新しい未来への可能性を込めて市の地図に色を付けました。それを海へと続く多摩川を泳ぐ、SDGsの稚魚達のように川崎市の回りに泳がせ、生徒達の思いや可能性が、多様で持続可能な川崎へと大きく成長していくように、願いを込めてデザインしました。完成した旗は、東京大学安田講堂でのフィナーレイベントを終えたのち、生徒達の手元に届く予定です。

### 大漁旗プロジェクトとは?

SDGsの実現に向けて、地域が輝きを増やすための願いや希望を注いだ旗のデザインを各自自治体から募集して、日本沿岸を航行する船に託して各地を繋ぐプロジェクトです。科学自然都市協創連合(事務局:東京大学生産技術研究所)が実施しています。



プロジェクトに参加した生徒と地域のデザイナーさん達



完成した大漁旗のデザイン

お問合せは 総務企画局企画調整課 TEL 044-200-0374



特集7

教育改革推進会議

# 市民委員募集



## これからの川崎の教育を一緒に考えてみませんか?

教育委員会では、川崎の教育改革を進めるうえでの課題や「かわさき教育プラン」の進捗状況などについて学識者や学校関係者などから意見を伺う「川崎市教育改革推進会議」を設置しており、この会議の令和3(2021)年度・令和4(2022)年度の市民委員を募集します。

**応募資格** 次の条件を全て満たす方

①20歳以上で市内在住1年以上の方 / ②川崎市の附属機関の委員でない方 / ③川崎市職員でない方

**募集人数** 2名(選考)

**任期** 就任日～令和5年(2023)年3月31日

**申込み** 下記[A][B]の書類を記入の上、3月3日(水)までに郵送又は持参。提出していただいた小論文などは返却しません。

詳しくは教育委員会ホームページの「かわさき教育プラン」をご覧ください。

[URL] <https://www.city.kawasaki.jp/880/category/11-2-0-0-0-0-0-0-0-0.html>

[持参または郵送先] 〒210-0004 川崎市川崎区宮本町6 明治安田生命川崎ビル3階

川崎市教育委員会事務局教育政策室宛

[A] 次の10項目を記入した用紙

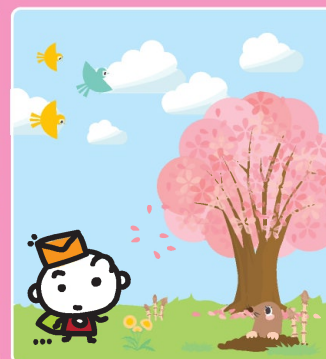
- ①氏名(ふりがな) ②住所 ③電話番号 ④性別 ⑤生年月日 ⑥現在の職業 ⑦市民となった日
- ⑧主な職歴 ⑨簡単な応募理由 ⑩ボランティアなどの活動経歴

[B] 小論文

テーマ「これからの川崎の教育について」(800字程度、書式自由、サブタイトルは自由)

お問合せは 教育政策室(企画) TEL 044-200-3244 FAX 044-200-3950

答えは最後のページにあるよ!



メルルんの絵日記 まちがいさがし

Vol.8 春のさくら編

さくらを見に行っちゃ。 天気が良くて とてもきれいだったなあ。

右と左でまちがいが5つあるよさがしてみてね!



# がく げい いん 学芸員さんのおしごと

ピックアップ



## 学芸員って何をする人？

生田緑地にある博物館、美術館には、学芸員という専門家がいます。それぞれの専門的な知識や技術、経験を活かして、動植物や美術品、昔の道具などを集めたり、調査や研究をしたり、展示会を開いたりする仕事です。

- 日本民家園には、古い建物を直したり、昔の道具や暮らしを伝えたりすることが専門の学芸員が。
  - かわさき宙と緑の科学館には、宇宙やプラネタリウム、動物や植物が専門の学芸員が。
  - 岡本太郎美術館には、岡本太郎の研究、美術や展覧会が専門の学芸員が。
- 学芸員の仕事が、個性的な3つの館の魅力を支えています。皆さん、遊びに来てください。



## かわさき宙と緑の科学館

### プラネタリウムの番組制作と生解説

この科学館のプラネタリウムは、学芸員が毎月変わるオリジナルの番組を作り、全て生解説で投影することが自慢です。

番組作りは、学芸員が伝えたい内容やホットな話題を話し合ってからテーマを決め、調査や取材をしてシナリオを作り、星空や映像をプログラミングし、解説の練習を重ねて公開に備えます。

宇宙の専門的な知識、プラネタリウム操作技術を持つ学芸員がいることにより、毎月違う星空の旅に皆さんをご案内することができます。



### 動植物の標本の保管、展示、活用

科学館では、多くの方から自然や生き物について質問や問い合わせをいただきます。

特に生田緑地で見られる植物や昆虫についての質問が多く、しっかりと答えられるように、定期的に自然を観察しています。

また、博物館には、昆虫の標本や植物の押し葉標本など、いろいろな標本が保管されています。生き物を集めて標本を製作するのも学芸員の大事な仕事です。



資料収集

資料整理・標本制作

### 科学実験教室の「ワクワドキドキ玉手箱」

科学館では、週末を中心に子どもが気軽に参加できる科学実験教室やワークショップを職員や市民団体の方々と開催しています。事前に計画・準備を進め、当日の楽しく安全な運営が大切な仕事です。

また、出前科学実験教室で利用する「ワクワドキドキ玉手箱」という科学実験キットの管理や運用も行っています。



科学実験教室

科学実験キット(玉手箱)

玉手箱の中身

お問い合わせは かわさき宙と緑の科学館 ☎044-922-4731 🌐HP <https://www.nature-kawasaki.jp/>



## 日本民家園

### 昔の人々の暮らしを伝える

暮らしの中で使われていた道具を集め、大切に保存しています。例えば衣服や食器、勉強道具、作物を育てたり魚をとったりするための道具、おふだやお守りなど…。

ふだんにげなく使われる道具が、「人々はどのように生活してきたか？」を教えてください。学芸員はそれを解き明かし、わかったことを展示や解説会などの場で皆さんにお伝えしています。



古民家について解説

特別展示「雪国川」

### 古民家を未来へ残す

民家園にある民家は、多くが江戸時代に建てられたもの。より良い状態で未来へ継承していくため、メンテナンスは欠かせません。障子紙の張替え作業も、民家園学芸員の大事なお仕事です。



障子紙張替え作業

### 皆さんの「学びの場」を作る

地域の学校と協力し、小学生の皆さんへ向けて、実際に使われていた道具を用いて昔の暮らしを体験する活動をしたり、昔の暮らしをご紹介します場を作ったりしています。



小学生向けの解説

お問い合わせは 日本民家園 ☎044-922-2181

🌐HP <https://www.nihonminkaen.jp/>



HP

Twitter

## 岡本太郎美術館

### 岡本太郎美術館の裏側を知ろう！

岡本太郎美術館には、約1800点の作品が収蔵されています。油彩画、版画、彫刻、レリーフからテキスタイル、グラフィック、家具のデザインに至るまでの多彩な作品があります。年に4回展示替えを行い、多くの方々に岡本太郎作品を楽しんでいただいています。

美術館展示室の裏側で学芸員は、岡本太郎研究や収蔵作品の管理、展覧会やイベントの企画運営を行っています。今回は、作品を保管している「収蔵庫」と、新しい展覧会の準備である「展示替え」について、ご紹介します。



### 収蔵庫

展示していない作品は、収蔵庫という特別な部屋にしまわれてしまっており、岡本太郎美術館には、絵画や版画作品を収蔵している第1収蔵庫と、彫刻などの立体作品を収蔵している第2収蔵庫があります。収蔵庫は、火事や地震などの災害から作品を守る役割があり、湿度が24時間管理されています。収蔵庫の作品管理は、学芸員の大切なお仕事です。

普段は一般の方は入る事はできませんが、「ナイトミュージアム」や夏休みの子ども向けツアーなどで、特別に見られるイベントも開催しています。

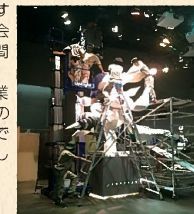


第2収蔵庫

### 展示替え

岡本太郎美術館は、これまで常設展と企画展を合わせ約60回におよぶ展覧会を開催してきました。その都度、学芸員が、展示内容を考え、作品をどのように展示するのかを決めます。展示替えは、展覧会と展覧会の間、約3日～1週間の期間で行われます。

美術館スタッフや、展示の専門業者、アーティストが、展示室で作品の入れ替え作業を行うため、休館中であっても実は美術館の中が一番忙しい期間です。



お問い合わせは 岡本太郎美術館 ☎044-900-9898

🌐HP <https://www.taromuseum.jp/>



HP

Facebook

Twitter





# 第3回川崎市 **イチョウ** 絵図 地蔵

## 地域文化財が決定! などなど 28件!



官村絵図  
有形文化財(古文書)  
(多摩区)



柳原の地蔵尊像群  
有形民俗文化財  
(中原区)



影向寺乳いちょう  
記念物(動植物)  
(荏原区)

### 地域の文化財に光をあてる

社寺建築物、獅子舞、石碑などの文化財は、自然や社会、生活の中から生まれ、地域で長い年月受け継がれてきた財産です。文化財の中には地域の人たちだけが知るような

ものもあります。川崎市は、こうした知る人ぞ知る地域の文化財(地域文化財)を顕彰して、多くの人に広めようと、平成29年度に川崎市地域文化財顕彰制度を作りました。

### ガイドブック等で紹介

地域文化財は毎年募集、顕彰し、ガイドブックや市のホームページで紹介しています。3回目となる今回も市民団体等から推薦していただいた地域文化財28件を顕彰し、地域文化財は全部で159件となりました。

### 4月から候補を募集

川崎市教育委員会は、4月から今年度の地域文化財候補を募集します。身近な文化財を奮って推薦してください。応募書類は市民館、図書館、区役所などで、市ホームページからもダウンロードできます。  
※川崎市には、法律などで保護されている指定文化財等が166件あります(R3.1現在)。詳しくは市ホームページをご覧ください。



能満寺本堂  
有形文化財(建築物)  
(高津区)

### 応募方法

下記の電話番号またはホームページで確認してください

期間 4月1日(木)~6月30日(水) H P <https://www.city.kawasaki.jp/880/page/0000121869.html>  
文化財課 ☎044-200-3305 FAX 044-200-3756

### 学芸員さんの(考古)のおしごと

文化財課には考古の学芸員が5名います。主な仕事としては、①川崎市内の埋蔵文化財調査や出土品等の整理・修復、②国・県・市史跡の保存管理、③史跡・埋蔵文化財の活用、④史跡・埋蔵文化財に係る各種事務などです。毎年、約4,000件の窓口・FAX等の照会、約100件の調査、文化財保護法に基づく約350件の事務処理などをこなす、ハードな仕事ですが、川崎市の歴史を多くの市民に知ってもらい、後世に貴重な歴史遺産を残していく、とても楽しく、やりがいのある仕事です。



発掘調査の実施



出土した土器の洗浄



調査見学会の開催



# お知らせ



## 令和2年度教員表彰

~児童・生徒のためにたゆまぬ努力を続ける先生が表彰されました~

日々の取組の中から、優れた教育実践を行っている教員を表彰し、広く周知することにより、教員及び学校全体のさらなる教育力の向上を図ることを目的として、「教員表彰制度」を平成16年度から実施しています。今年度の受賞者及び取組の内容は、次のとおりです。

黒川邦子 総括教諭(渡田中学校)  
常に生徒の実態を的確に把握した学習指導を実践するだけでなく、若手職員の育成にも力を注ぎ、学校全体の授業力・指導力・教師力の向上に尽力してきました。  
また、地域や保護者の方と連携した体験学習では、企画から運営まで中心になって取組むなど、地域に根ざした学校づくりに大きく貢献しています。

お問合せは 教職員人事課 ☎044-200-0367



## おめでとうございます!!令和2年度優良PTA表彰

優良PTA表彰は、事業内容や運営に工夫を凝らして活発な活動をしているPTAを表彰する制度です。今年度は次の学校のPTAが高く評価されました。

文部科学大臣表彰: 南野川小学校PTA、下布田小学校PTA  
日本PTA全国協議会会長表彰: 向小学校PTA、下平間小学校PTA  
(表彰式: 11月27日(金) 灘尾ホール)  
神奈川県教育委員会表彰: 殿町小学校父母と教職員の会、下河原小学校PTA、久末小学校父母と先生の会、平小学校PTA、東宮小学校PTA  
(表彰式: 9月4日(金) 神奈川県庁)

お問合せは 生涯学習推進課 ☎044-200-3304



## 「Net119」がはじまりました!

~聴くこと、話すことに障害や不安のある方向けの119番~

「火事だ!!」「おばあちゃんが倒れた!!」「お友達が車にぶつかった!!」そんな時はすぐに119番ですね。でも、もしあなたが119番通報したときに、声が聴こえなかったり、話すことに障害や不安があって119番が出来なかったらどうすればよいでしょうか?

消防局では2月1日から「Net119緊急通報システム」が始まりました。これは、聴くことの方や話すことに障害や不安のある方でも、スマートフォンや携帯電話を使った簡単な操作で緊急通報(119番)が出来るシステムです。

利用対象者は川崎市内に住んでいる方、働いている方、通学している方で、聴覚や発話の障害があり、音声による通報が不安な方です。使用する場合は事前登録が必要です。詳しくは川崎市消防局のホームページをご覧ください。

もしかしたら、近くに「Net119」を必要としている方がいるかもしれません。

お問合せは 川崎市消防局 消防局警防部指令課 ☎044-211-0119

簡単な操作で通報ができます。



QRコード

川崎消防 Net119



## 川崎市立小学校全校に 防犯カメラの設置を完了します!



市立小学校では、児童の安全確保のため、画像で来訪者を確認できるインターホンと遠隔操作で開閉する電磁石錠の全校設置に加え、防犯カメラの設置を進めてきました。防犯カメラは、不審者の侵入など万一の事態に備えるとともに登下校用の門などに設置することで、安全確保に効果があると考えていますので、事業進捗を早め令和2年度中に全小学校へ設置します。

お問合せは 教育環境整備推進室 ☎044-200-2772



## 自転車も のれば車の なかまいり

自転車に乗るときの、交通ルールを守っていますか。

自転車は車のなかまです。事故を起こさないよう、ルールを守って安全に利用しましょう。また、自転車損害賠償責任保険等への加入状況を確認しましょう!

### ①ヘルメットをかぶりましょう。

事故や転倒などに備えて、子供にヘルメットをかぶらせるよう努めなければなりません。

### ②子供にルールを教えましょう。

保護者は、自転車の安全で適正な利用について教えるよう努めなければなりません。

### ③乗る人みんな保険に入ろう。

県内で自転車に乗る人は自転車損害賠償責任保険等への加入義務があります。(未成年者が自転車を利用する場合は、その保護者等が未成年者の自転車利用に係る自転車損害賠償責任保険等に加入)

これらは、「道路交通法」や「神奈川県自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」で定められています。

お問合せは 地域安全推進課 ☎044-200-2267



## 「こども110番」を知っていますか?

ドラえもんステッカーが目印です!

「こども110番」は、PTAの方々などが主体となって、地域の家庭や店舗等に協力施設としてご協力いただき、地域で子どもたちを見守る事業です。子どもたちが不審者に声をかけられたり、ケガをしたときなどに保護していただく協力施設が市内に約9,000件あります。

川崎市内の協力施設には、ドラえもんの「こども110番」ステッカーが貼られています。通学路や近所のどこにステッカーがあるか、日頃から親子で確認しておきましょう。

お問合せは こども未来局青少年支援室 ☎044-200-2669 ☎044-200-3931



©Fujiko-Pro

未来を考える!!

生徒主体の活動

この記事は  
南生田中学校の  
生徒が主体となって  
作成しています。



# 南生田中学校

Let's build ~自分の手で みんなの手で~



## 持続可能な“これから”をめざして

今の自分たちにできることを考え、ふれあい広場ではSDGsを題材にしたクイズや割り箸を使わない綿アメを提供するなど地域に持続可能な開発目標を広める企画をしたり、プラスチック削減のために給食ではストローを使用せず、マイコップの持参を呼びかける活動をしています。

キャリア在り方生き方講座では東日本大震災で息子を亡くした講師の方や長崎原爆被害者の方などからのお話を聴き、いつ、どこで、何が起きるかわからないこと、今の生活があたりまえではないことなどを学び、自分自身を振り返ることができました。

## ひばり一す

学校行事などの企画・運営に携わる生徒主体の組織で、年1回実施されるリーダー講習会に参加するメンバーで構成されます。40周年式典を自分たちで考え成功された先輩方に続き、文化祭で「新型コロナウイルス感染症と共に生きる」をテーマとして劇で伝えました。



## 南生田中の“心”をとどけて

毎年、隣接する小学校と合同で広範囲にわたる南生田の学区を分劃して、地域ボランティアの方々と一緒に清掃をしています。自分たちの街を自分たちの手できれいに保つことができています。

洪水被害にあった九州や中国地方の中学校に、全校生徒からの励ましのメッセージを寄せ書きした横断幕と除菌スプレーや各自持参した雑巾を物資として送りました。後日、各中学校からお礼のお手紙が届きました。

災害が起こる前に自分たちができることはないかと考え、被災して苦しい思いをしている方の励みになればと思い、全校生徒が協力して100枚以上の土壌袋に絵や言葉を書いて送る活動を行いました。